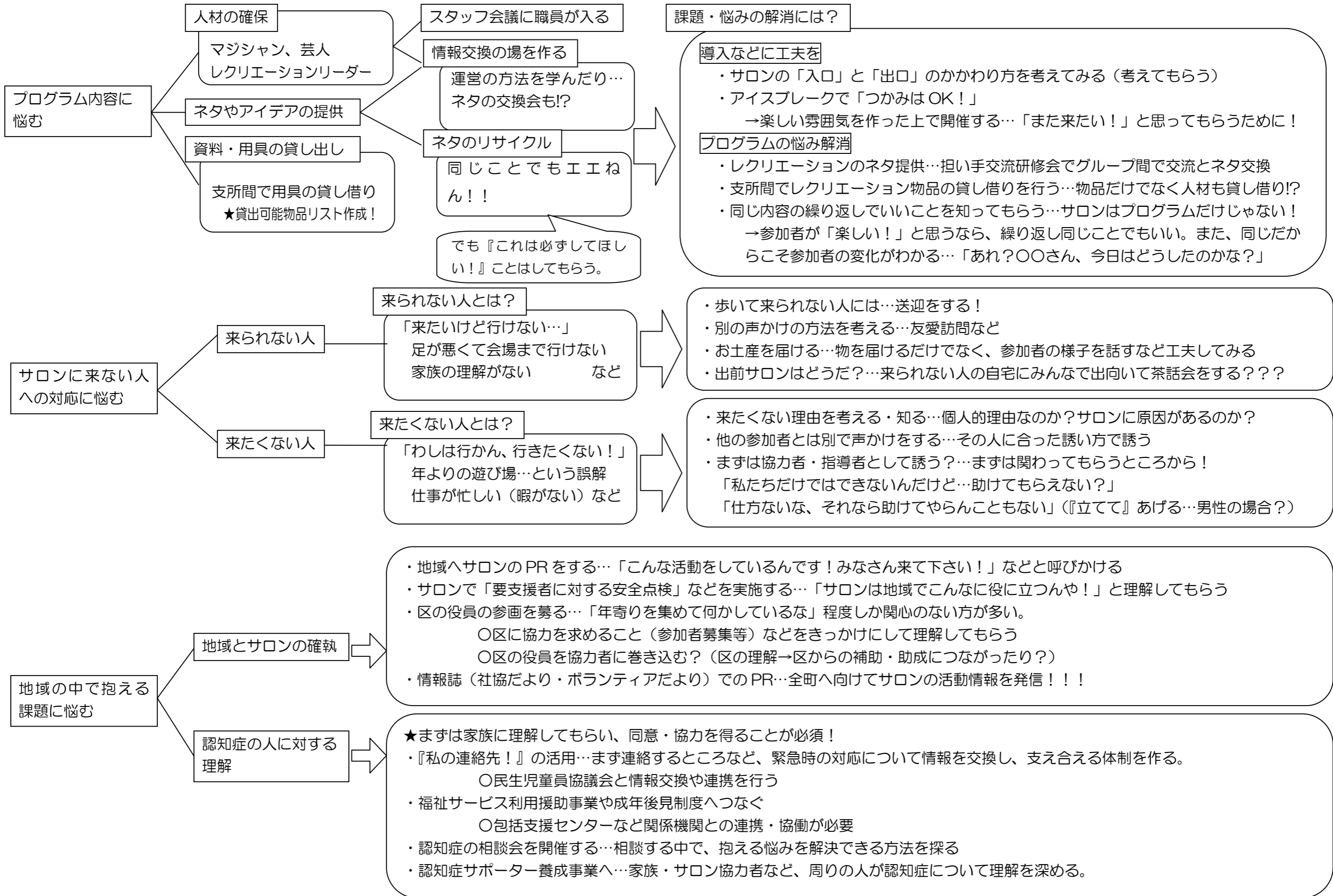
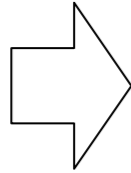


ふれあいいきいき サロンのちから ~可能性~



後継者不足

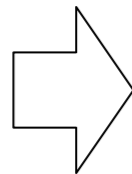


- ・『サロンの仲間』を増やす
 - 口コミ、声かけを行い協力者を増やす
- ・サロンを地域へPR
 - サロンでグループワーク（防災マップ作りで地域を歩いてみるなど）
- ・サロン間の人材の貸し借り
 - 手品ができる人、手芸が得意な人…色々特技を持っている人に地元以外のサロンにも協力してもらう（他の協力者に伝授するの一手か？）
- ・難しく考えない工夫（誰でもスタッフになれる！）
- ・プログラムの簡素化
 - 『形』を作る。それは導入の部分であったり、内容の部分であったり…
- ・サロンサポーター養成講座（担い手養成研修）
- ・レクリエーションボランティア養成講座
- ・役割の分担（それぞれの得意なことを活かす）
 - 「料理の時はあなた。手芸はあなた。送迎はあなた。進行は私がする」など役割を分担する

社協としては…

- ・協力者の資格や特技を調査する
 - 協力者リストの作成
（人材の貸し借りをを行う際に調整を行う）
- ・参加者への調査
 - 対象・目的等の整理や開催内容の確認など
（運営がしやすいように手助けをする）
- ・養成講座の開催
 - 協力者の発掘や依頼の手助けをする。

デイサービス、ヘルパー、老人会等の行事と日程が重なる



- ・老人会等と情報交換、連携
- ・サロンの行事に老人会の協力を求める
 - 逆にサロンが老人会の行事に協力することも
- ・デイサービス、ヘルパーとの連携
 - 参加者の福祉サービス利用状況の把握
ケアマネジャーをサロンに招待する（知ってもらう）
- ・開催についての情報を伝える
 - 連携と同時にサロンに関心を持ってもらえる